

今、県内産の新鮮な牛乳を 安心して飲み続けられるのは…

おいしくて安心な牛乳は、生協商品の代名詞。地元の生産者とともに大切にはぐくみできた牛乳がじつはコープぎふ誕生の主役でもあったことをご存知ですか？そんな牛乳の歴史を振り返りながら、長年の務めを終える「美濃酪連東濃工場」の閉鎖と北濃工場の拡充についてお知らせします。

牛乳から始まった 生協の「安心・安全」な 商品づくりへの思い

生協の原点ともいえる、牛乳の共同購入の始まりに深く関わっていた組合員のおひとり、後藤玲子さん。せいきょう牛乳誕生当時のお話と、現在につながる思いについて、うかがいました。



当時を振り返る後藤さん

「安くておいしい」 牛乳を求めて 美濃酪連との出会い

今でこそ「安全」な牛乳が安心して普通に手に入る時代ですが、私が子育てをしていた1970年代は、牛乳の大



配達が始まった頃の箱入りビン牛乳

幅な値上げや、食品添加物の氾濫、インスタント食品の登場、商品の流通形態が大きく変わるなど、牛乳だけでなくさまざまな商品を取り巻く環境が大きく

変化した時代でした。そんなとき、大学生協で安くておいしい牛乳が手に入ると聞き、たくさんのお母さんたちが、大学生協に集まりました。

「この牛乳を継続して購入したい」そんな思いでじまった、牛乳のまとめ買い運動が、大学生協から地域へと広がり、生協の前身ともいえる、「各務原共同購入会」へと発展していきました。このとき大学生協に牛乳を納めていたのが、美濃酪連農業協同組合（当時の東酪連）です。

商品を知ること 安心・安全を考える

最初は安くておいしい牛乳を求めて始まったまとめ買いでしたが、自然と「自分たちが求める牛乳についてもっと知りたい」と、牛乳の学習にも取り組みました。

「より品質の良い牛乳を手に入れるにはどうすればいいのか」——私たち消費者の意識が「価格重視」だけでなく、「自分の生活を守り、子どもに安心して与えることのできる、安全な牛乳を！」という思いに高まっていくのを感じました。



なつかしいパッケージ

消費者と生産者の努力で より良い商品をつくっていく

今では当たり前の成分無調整乳も、いち早く生産・販売に取り組みはじめたのは生協なんです。当時は、脂肪分が多いほど、おいしい牛乳だといわれていました。「本当にそうなのか？」脂肪を添加した高脂肪な牛乳と、とれたての牛乳の飲み比べもしましたね。でもやっぱり、搾りたてそのままの「本当の牛乳の味」がいちばん。私たちが求める成分無調整乳を開発しました。

私たち消費者の願いに、生産者の方々は一生懸命応えてくださいました。だから私たちは生産者を支える責任があるんです。牛乳生産安定基金や、おっ

ぱいタオルなどの運動や交流にも力を入れました。生協が、産地や生産者との交流に取り組み続ける原点はここにあるんですよ。

添加物や残留農薬など、食品に関するさまざまな問題があった時代に、生産者と協力して商品全体の品質向上を目指す取り組みは、後の生協商品づくりへ広がったと自信をもっています。

これからますますつながりを大切に

「私の利用する商品を、私の目で確かめられる、このことは私たちが安心して商品を利用できる根底ではないでしょうか。これからもこのつながり大切にし、次の世代に引き継いでいきたいものです。」

美濃酪連農業協同組合連合会 東濃工場の統廃合について

この度、当会の東濃工場が統廃合することについてご報告申し上げます。

これまで生協様との関わりの中で、酪農家とのふれあいを大事に頂きました。「牛乳生産安定基金」の設立は酪農家の経営安定化を目的に、生産者と組合員さんが基金を出し合い、導入牛の資金として今でも無利息で融資しております。またヨーグルトやミルクプリン等の開発（食べる牛乳運動）や、「おっばいにタオル運動」、「ミルクまつり」など組合員さんと酪農家を繋ぐたくさんの思い出を残してくれました。

残念ながら工場が老朽化し、牛乳の品質管理を維持するためにも、今回断腸の思いで統廃合することを決定いたしました。今後は、北濃工場において今まで通り「せいきょう牛乳」をは

じめ、すべての生協商品を製造し、組合員の皆様にお届けいたします。

最後に、長い間東濃工場を可愛がって頂きましたことを感謝致しますとともにお礼を申し上げます。



美濃酪連 参事
丸山伸二さん

ありがとう 美濃酪連東濃工場

美濃酪フェア
8月25日(土)～8月26日(日)
コープぎふ 恵那店(予定)

- ・ 擬似乳搾り体験
- ・ 牛乳クイズ
- ・ 牛乳飲みっぷりコンテスト
- など



美濃酪連さんと各支所で取り組む「モーモースクール」。牛乳をとおした食育活動も広がっています。これからも安心しておいしい牛乳が飲み続けられるよう、交流を深めていきたいですね。

***牛乳生産安定基金**
牛乳生産安定基金は、せいきょう牛乳を守るため、生産者と生協の組合員が資金を出し合い、乳牛の導入の資金として生産者に無利息で融資するものです。現在もこの基金は、生産者のために運営されており、その乳牛は「コープ牛」と呼ばれています。

***おっばいタオル**
良質の牛乳を出すためには、乳牛の乳房を清潔にしておくことが重要です。そのために汚れをふきとるタオルがたくさん必要です。組合員から集めたタオルを酪農家のみなさんが大切に使用しています。